



ほけんだより

2018.4.23

尼崎市立小田北中学校

保健室

沖縄ではしか(麻しん)が流行しています

ニュースでも報道されているように、現在、沖縄ではしか(麻しん)が流行しています。教育委員会からのお知らせをお配りしましたが、症状など詳細にお知らせします。



はしか(麻しん)とは？

麻しんウイルスによって引き起こされる感染症です。平成2年4月2日以降に生まれた方は定期接種として2回の麻しん含有ワクチンを接種しており、かつ平成18年(2006年)からは麻しん・風しん混合ワクチン(MRワクチン)の2回接種制度が導入されているので、お子様は1歳と小学校就学前にワクチンを接種していると考えられます。念のために、2回接種をしたか母子手帳で確認をお願いします。

症状は？

約10日の潜伏期間を経て、38℃前後の発熱、咳、鼻水、目やに・目が赤くなる、^{けんたいいひん}倦怠感などの風邪に似た症状と、麻しん特有の口の中の頬粘膜に白い発疹(コプリック斑)が出るといった症状が出始めます。この症状が続いた後、いったん熱は下がりますが、顔・首筋に赤い発疹が出始めると再び熱が高くなります。

※はしかに対する免疫をある程度持っている人がかかると、症状が軽くなって出ます。

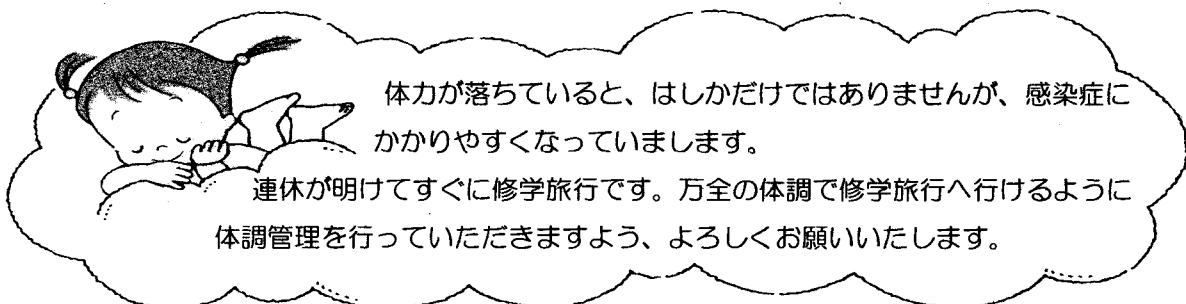


症状が出たら...

修学旅行から帰ってきてから、はしかのような症状が見られたら、すぐに受診するようにお願いします。受診する場合、まず病院へ連絡をし、修学旅行で沖縄へ行ったことを伝えてから指示に従って受診するようにお願いします。

また、はしかだと診断されたときは必ず学校に連絡をしていただくようにお願いします。

はしかは出席停止扱いとなります。出席停止期間は、解熱した日を0日目として3日経過するまでとなっています。



体力が落ちていると、はしかだけではありませんが、感染症にかかりやすくなっています。

連休が明けてすぐに修学旅行です。万全の体調で修学旅行へ行けるように体調管理を行っていただきますよう、よろしくお願いいたします。